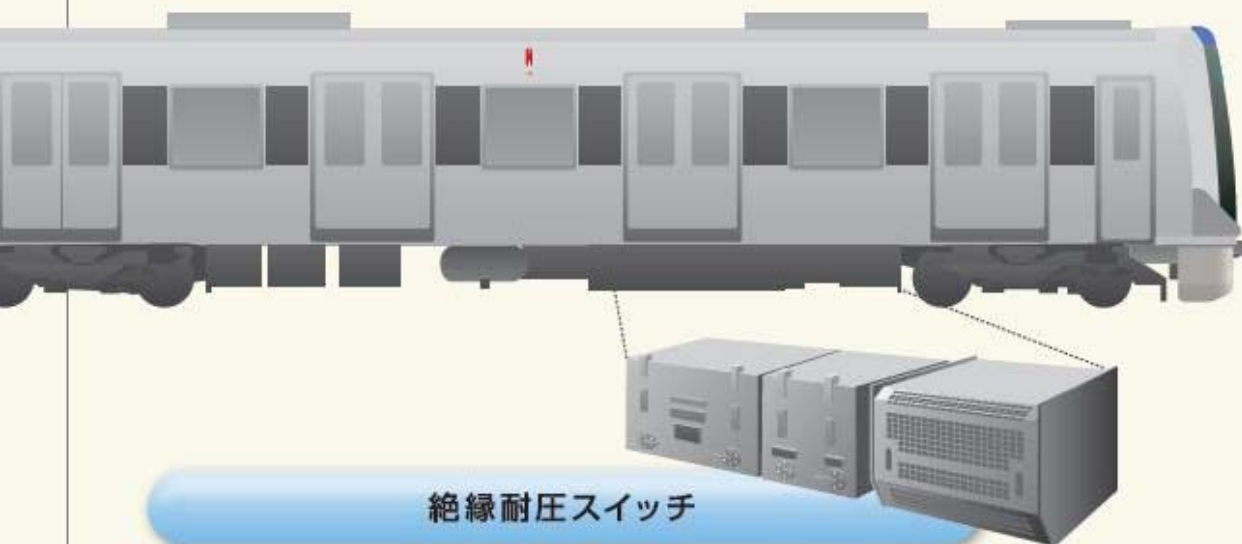


床下制御機器



絶縁耐圧スイッチ

最近の鉄道車両はインバーター制御が主流となっています。インバーター装置には多数の電子機器が搭載されており、定期的な耐圧検査の時には電圧で破壊されないように、回路を切り離す必要があります。絶縁耐圧スイッチは、通常閉路している各回路を開放させる役割をします。



BMZPシリーズ

絶縁耐圧用コネクタ

インバーター装置の耐圧検査時に回路を開放する方法としては、スイッチではなく、コネクタが採用されていることもあります。

通常はコネクタを挿入して回路を閉路しておき、試験時にはコネクタを引き抜いて回路を開放する方法が一般的です。



SCシリーズ



●車両イラストはイメージです。

表示器

列車の扉の開閉、ブレーキの制御、乗り心地を良くするための空気バネなど列車には圧縮空気が多く用いられています。

圧縮空気を制御しているのが、床下に搭載されている空気圧縮機です。空気圧縮機の制御盤には、故障表示器が搭載されている場合もあります。



ZKシリーズ

制御回路開放スイッチ

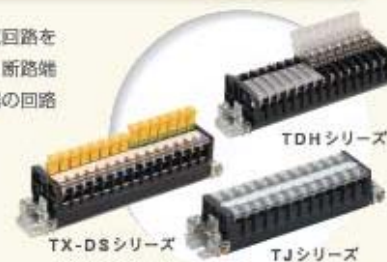
車両の床下には、パンタグラフなどから供給された電気を空調などの機器へ制御・保護・配分する役割をする配電箱が搭載されています。制御回路開放スイッチは配電箱に搭載されており、定期的な試験時などに、通常閉路している各機器への一次側の回路を一斉に開放する役割をしています。



BMZCPシリーズ

断路端子台、端子台

配電箱や制御盤などには多数の端子台や、電気回路を確実に開放する断路端子台が搭載されています。断路端子台は定期的な試験時に通常閉路している各機器の回路を確実に開放する役割をしています。



TX-DSシリーズ

TDHシリーズ

TJシリーズ